

C. O. 英語英文学科・4年次

I. 留学レポート

① 留学決定から出発までの準備期間

韓国留学が決定してから出発まで、それまで以上に韓国語の勉強をしました。大学の授業はもちろんのこと家にいる間は常に韓国語の勉強をしました。例えば、独り言は韓国語で、韓国語が分かる友人とは韓国語で話しをしてみたり、自身の日常生活にできるだけ多く韓国語を取り入れるようにしました。

② 語学研修期間

韓国についてからは、まず語学集中講座のプレースメントテストを受けなければなりません。ペーパーテストと面接です。私は初級からスタートしました。クラスメイトの大半が中国人です。授業自体は予習・復習をすれば何も問題はありません。単語テストや会話テストも週に何回かありましたが、普通に勉強をしていれば難しくありませんでした。

③ 正規科目履修期間

・履修科目（決定までのプロセス、具体的に履修した科目名とその内容（科目ごとに100字以内程度））

・授業、レポート、定期試験

大学の授業は、留学生のために英語で行うものがいくつかあったので、春学期はそこから2つ選択しました。韓国文化と心理学の授業です。韓国文化の授業では主に韓国の伝統芸について学習しました。授業の一環として伝統芸を見に行く機会があったので良い経験になりました。心理学の授業では障害者について学習しました。障害の起因や症状、心理を学ぶ事で私たちが今後、障害のある人達とどのように接していくべきかなどを考える授業でした。秋学期は、自身が英語英文学科ということもあり、英文学科の授業の中から一つ選択しました。上級英語という授業でしたが、内容は英語文章の書き方です。様々な英文の書き方を学びました。その際、リーディングの宿題が毎回ありました。また、毎週ジャーナルを2つ書くという宿題があり、思った以上に大変でした。授業は全て英語で行われました。

④ クラブ、課外活動、ボランティア活動

⑤ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について（寮・ホームステイの決定方法、設備、イベント紹介など）

留学中は寮での生活でした。ルームメイトはもちろん韓国人です。私の住んでいた寮は3人部屋でしたが、途中で新しい寮ができました。そちらは1人部屋、2人部屋、4人部屋があるそうです。寮は朝昼晩と食事ができるので食事の心配をする必要はありません。インターネットも使う事ができます。お風呂はシャワーです。オンドルと言って床暖房がついているので冬でも、部屋の中ではTシャツで過ごします。

⑥ 長期休暇の過ごし方

⑦ 留学期間中の就職活動の取り組み

夏休みは就職活動のために日本に一時帰国しました。4年次での留学であったので夏休みの間にできれば内定が出ればと思っていたのですが、現実はそのように甘くはありませんでした。また、韓国で実際できる就職活動はパソコン上でのエントリーやホームページによる企業調べくらいですので、場合によっては自身の志望する企業をエントリーできないので、4年次で留学する場合は、その面を良く考えて決めた方が良いでしょう。

II. 留学の感想

- ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること
- ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと
- ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

留学中に最も思い出に残っている事は、やはり寮生活です。幸いな事にルームメイトが韓国人であったので、同世代の韓国人の生活をリアルに送ることができました。初めの頃は自身の語学力の問題で、伝えたい事を上手く伝える事ができず、もどかしい日々を送っていましたが、彼女達との日常での会話から徐々に理解できるようになりました。彼女達と日本の文化や韓国の文化の違い、政治の話、恋の話、将来の夢の話など、家族のように様々な話ができるようになった事が私の一番の収穫であったと思います。留学中は楽しいこともあれば、やはり大変なこともありました。例えば韓国人は集団行動を望むので自分一人の時間があまり持てなかった事や、食べ物が自分には合わなかった事に苦労しました。食べ物は、とにかく辛いうえに、どんな料理にもニンニクが多く入っているので、よく胃を壊しました。

III. 留学希望者へのアドバイス

- ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

ソウル女子大学の授業はレベルが高いと思います。PPTを使ったプレゼンテーションや、中間試験がある事は当たり前です。日本では経験できなかった事であるのでモチベーションも上がるし、何かと挑戦することが多く勉強になります。また、大学内に郵便局や銀行があるので便利でした。しかし学校自体が山の中にある上に駅まで少し遠いので、かなり不便でした。

- ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

日本から持って行ってこれが役に立ったと言う物は特にありません。韓国にも日本と同じような物があるので、日本からわざわざ持っていかななくても心配ありません。

- ③ 語学力の向上等、留学の成果

留学してから確実に語学力が向上しました。それに気づいたのは私自身ではなくルームメイトや韓国の友人でした。自分では、あまり上達しているとは思わなかったのですがルームメイト達に言われ良く考えてみると、初めは全く話すことができなかったのに最後には恋愛話などができるくらいまでになっていたのです。やはり、かなり上達したなど改めて感じました。しかし私にとっての一番の留学の成果は語学向上よりも、何でも気兼ねなく

心から話すことのできる外国人の親友ができたことでした。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学中は楽しいこともあれば辛いこともたくさんあります。特に大学の授業が始まると何かと毎日が忙しいです。授業はもちろん韓国語ですので（英語もあります）日本語で受ける授業の何倍もの体力と集中力が必要であり、本当に疲れます。しかし、それをやり遂げた時の達成感は本当に大きいです。これから留学する後輩たちには、せっかく韓国の大学に行くので、失敗を恐れず様々な事に挑戦し有意義な留学生活を送ってほしいです。

K. M. 日本語日本文学科・4 年次

I. 留学レポート

① 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定してからインターネットでビザや在留届のことを調べて、向こうに着いてからすることをファイリングしました。ビザをいつ申請しにいったのか具体的に覚えてないのですが、発行は 1 月 28 日なので、12 月中には行ったと思います。学校のテストが終わるまでは荷物の準備はせず、普段通りレポートの準備や、バイトをしていました。韓国語も自分が出来る範囲で映画やドラマを見て、本を読む程度でした。具体的な準備は 2 月から始めました。

まず、自分用のパソコンを買って、すぐに必要なものはスーツケースにつめて、あとから送る服や靴を段ボールに詰めました。いつでも必要な時にすぐに日本から送ってもらえるように、自分が使い慣れている化粧品などは予め 10 カ月分を買っておきました。向こうで着る服や靴・鞆なども、夏物・冬物と自分で分けて同じように準備していました。飛行機のチケットは 2 月に準備したと思います。銀行は新生銀行の海外送金サービスを利用して、韓国で下ろしました。

② 語学研修期間

3 月 3 日にレベルテストがあり、3 月 4 日に結果を教えてくださいました。そこでどんな授業があるのか日本語ができる先生の説明があり、その場で受講できる韓国語授業、受講したい韓国語授業を登録しました。ソウル女子大学の韓国語春学期は 3 月 17 日からなのですが、私は 4 月 20 日の韓国語能力試験の準備クラスにも入ることになり、3 月 5 日から 17 日までの水・土・日以外は 10 時～1 時、17 日以降は火曜日と金曜日の 16 時～19 時に授業を行いました。このクラスは交換学生で韓国語能力検定の上級を目指すクラスで中国の留学生 10 人と一緒でした。

韓国語春学期は 4 級からスタートして、中国人 15 人と私一人のクラスでした。中国人は交換学生 3 人、他の人たちは 1 級から進級してきた人たちが大学や大学院進学を目指しています。最初のころは授業中も中国語で話す彼らについていけなくて、休み時間のたびにうるさくて耳が痛かったです。辛くて先生にも相談し、授業の雰囲気は少し改善されました。毎日課題があり、グループ発表もありました。中間・期末考査を終えて 5 月 23 日に終了しました。

夏学期(6 月 16 日～8 月 22 日)の参加は自由なのですが、私は日本に帰るのがもったいなくて夏学期も参加しました(無料です)。春学期は図書館の地下の教室で、寮からも比較的近かったのですが夏学期は国際生活館という学校の敷地から少しはずれた建物で行われました。ここでも最初は中国の学生が多かったのですが暑い時期ということもあり遅刻や欠席する人が増え、だんだん人数が減っていきました。語学堂では学期中、32 時間以上欠席するとテストを受けても進級できません。

夏学期が終わり、韓国の長い祝日をはさんだので、秋学期が 9 月 22 日から始まりました。

韓国語課程の最後の級となりクラスの数も 5 人になりました。先生がとても厳しい人で、韓国の mixi のような会員だけが閲覧できるサイトで毎日宿題や課題を提出しました。普段 1, 2 時間目は文法中心で 3, 4 時間目は読解が中心なのですが、新たに火曜と金曜の 3, 4 時間目は雑誌作りの授業が始まりました。この雑誌作りが始まってからは本当に忙しくて週末は取材に追われました。

学期毎に、文化体験として遊園地や水族館に行くことがありました。春学期は中国人と一緒に行くのが嫌で行かなかったのですが、行かないと欠席扱いになるので夏からは参加しました。

テストは文法・作文を中心としたもの、先生と 1 対 1 のスピーキング、聞き取り、読解問題の 4 つがあります。中間・期末ですべての科目が平均 70 点以上ないと進級できません。次の学期からは 3 科目平均 70 点以上で進級だそうです。

③ 正規科目履修期間

・履修科目 (決定までのプロセス、具体的に履修した科目名とその内容 (科目ごとに 100 字以内程度))

3 月 4 日に韓国語の登録をしたすぐ後に、違う部屋で国際協力部の先生が正規科目の履修方法を説明してくれました。履修登録はパソコンでしかできません。その場で学部科目や一般教養科目が書いた冊子を渡され、そこで科目を決めました。春学期は日本文学史を登録したのですが人数不足で開講せず、受講せきませんでした。

秋学期は国語生活と漢字(韓国で使われる 1800 字の漢字を学ぶ授業)と韓国生活史(朝鮮時代の衣食住などを学ぶ授業)を履修しました。

・授業、レポート、定期試験

秋学期に受講した正規科目はどちらもすべて韓国語でした。国語生活と漢字では毎回教科書の 20 ページ分の漢字を書いてくる課題がありました。レポートはなく、試験は 2 回ありました。マークシート式と記述式です。

韓国生活史の授業は韓国の学生が歴史の知識がある上での授業なので内容はとても難しかったです。先生のしゃべり方が聞き取り辛く、レコーダーを持参していました。中間、期末考査前にはレポートもありました。本を読んで作成するレポートだったので、時間がかかりました。中間、期末考査は 3 問ずつで記述式です。この授業で最初の授業のときに皆の前で「留学生だからといって甘い評価はしない」と言われ、授業中のビデオ映像も日本が歴史を歪曲しているという内容のものが多かったです。個人的にこの授業はおすすめできません。

④ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブ活動は国際協力部の先生が紹介してくれました。クラブに入ること、より深い人間関係を作れるとは思いますが、私は授業の準備で精いっぱいだったので入りませんでした。ソウル女子大の学生が韓国語を教えたり、どこかへ遊びに行ったりできるトウミ制度というものもあります。日本語ができる人かできない人を選んで紹介してもらうシステムです。ボランティア活動は特にしていません。夏休み前などは学校の掲示板に農

村でのボランティアのお知らせなどが掲示されています。

⑤ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について（寮・ホームステイの決定方法、設備、イベント紹介など）

韓国に到着した日が学期前だったので、いったん国際生活館に泊まりました。次の日には第一寄宿舍に入舎しました。1階で部屋割りを教えてもらいます。どちらも施設は同じです。建物の玄関はオートロックで、コンピュータールームもあります。全て3人部屋で部屋には机とクローゼット一つ（3人で一つ）と3段ベッドがあります。貴重品を入れられるような鍵のついたものはありませんが、ルームメイトと仲良くなれば盗難の心配はないと思います。第一寄宿舍は古く、清潔ではありません。収納も少ないです。各階にトイレ・洗面台・キッチン・冷蔵庫があり、1階にアイロン部屋・共同シャワー室・洗濯機・乾燥機（洗濯機と乾燥機は1回500ウォン）があります。食堂は違う建物で、朝ごはんだけが出ました。週末は食堂が利用できません。11時半には点呼があり、必ず部屋に居なければなりません。金土日は外泊が可能ですが、インターネットで事前に報告するシステムです。ソウル女子大の春学期が終わると全員寄宿舍から出ないといけないので、私と藤本さんは国際生活館（中国人寄宿舍で、1階は韓国語授業で使う教室）に移動しました。ここは山を越えていか、隣の射撃場を通って行くしかないなので引っ越しをするにはとても不便です。このとき国際協力部の方に手伝ってもらえなくて、知り合いに車を出してもらいました。国際生活館では携帯の電波が通じず、近くにスーパーもなく、周りは中国人だけという環境に耐えられず、出ていくことにしました。

夏の2か月間は以前からお世話になっていた下宿の方に頼んでそこから学校に通いました。

9月からは新しいシャロムハウスという寄宿舍に入りました。4人部屋で私と藤本さんと韓国人2人です。ここは建物の入口もオートロックなのですが、部屋一つ一つもオートロックで安心しました。部屋に大きい靴箱・トイレ・シャワー・洗面台・冷蔵庫があります。冷暖房完備で勉強部屋と寝室（2人ずつ）が分かれています。寝室には一人ずつ大きなクローゼットがあります。1階にコンビニと食堂とコンピュータールームがあり、地下には洗濯機・乾燥機とトレーニングルームがあります。第一寄宿舍、シャロムハウス共にテスト前には夜食をくれました。

⑥ 長期休暇の過ごし方

まず学期中にもらったプリントや教科書、使った服や靴などを日本に送って荷物を減らしました。また、こちらの長期休暇に合わせて家族や友達に遊びに来てもらったり、韓国の友達と地方旅行に行ったりしました。ソウル女子大学の夏休みは2か月ありますが、韓国語課程の夏学期があるので夏休みは実際10日しか無かったです。

⑦ 留学期間中の就職活動の取り組み

リクナビには登録していたのですが韓国語課程の課題が多く、就職活動はほとんど進めていませんでした。11月頃からSPIの問題をはじめ12月にリクナビでのエントリーを始めました。企業からのメールチェックやリクナビを頻繁に見出した時期が最後の期末考査と重なったので期末考査の勉強がおろそかになってしまいました。早いうちから準備し

とけばよかったと後悔しています。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

長期休暇や週末にたくさん旅行が出来たことです。何の計画も無しに切符だけ買って、そこで出会った人と話したり、おいしいものを食べたりしました。レンタカーで海に行くこともあったし、安いバスツアーを利用したりしました。旅の途中に、友達や彼氏と大ゲンカすることもあったけど、本気で気持ちをぶつけられる人に出会えたことはいい経験だったと思います。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

韓国語課程です。クラスに中国人しかいなくて、耳から聞こえてくる一つ一つの言葉に敏感になり、ストレスになりました。一人一人はいい人なのに、集まるとやっぱり中国語で話されるので、中国語を聞くと頭痛が起きるほど嫌な時期もありました。韓国語を習いに来ているのに中国語を聞く機会が多く、不安になっていました。先生方も休み時間まで中国語を使うなという注意はできないので、そこを改善するには自分の努力しかありませんでした。自分から韓国語で質問したり、中国語を習ったりしました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

韓国・中国の人は声が大きいので慣れないうちはびっくりすることが多かったです。そのほかには特に無かったです。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、以前にも日本語教育実習で参加していたので先生方や友達が居たことです。韓国語課程では的確なレベルテストのおかげで、自分のレベルに合ったクラスに入れました。先生方の説明もわかりやすいです。

国際協力部の先生方も他の先生方も日本の大学のイメージとは違い、家族のように接してくれます。

悪かった点は、学校が市内から離れた所にあることです。寄宿舍から最寄りの 6 号線フアランド駅まで徒歩 20~30 分程度です。タクシーに乗ろうとしても 1 メーターいかないので乗せてくれません。学校の外のバス停から 7 号線テルン駅や 1 号線ソッケ駅に行くこともできるのですが、バスが 10~15 分に 1 本でなかなか来ません。ミョンドンまでは大体 1 時間、シンチョン・イデ方面は 1 時間半かかります。平日に遊びに行く場合は 11 時半までに地下鉄で帰ろうと思ったら余裕を持って 10 時には出発したほうがいいです。地下鉄がなかなか来ず、タクシーに乗り換えて 11 時 27 分に寄宿舍前に到着して走っていったこともありました。

寄宿舍では遅刻や外泊申請をしなかった場合、罰点があります。その合計が 15 点以上になると寄宿舍から強制退舎になります。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

まずパソコンは持っていきました。学校にも寄宿舎にもコンピュータールームがありますが、テスト前などは混雑して使えません。受講する科目にもよりますが、私はパソコンもパワーポイントが入っているものを買ってよかったです。韓国語授業では毎学期使いました。韓国でも買えますがアイマスクと耳栓も役に立ちました。

③ 語学力の向上等、留学の成果

韓国語授業では学期ごとに自分たちで資料を探して、配布物とプレゼンの準備をすることを短時間でしないといけなかったのが、インターネットや文献の検索能力、スピーチ力、書く力が向上したと思います。寄宿舎では同世代の女の子たちが使う言葉も知ることができました。映画をよく見に行っていたのですが、いつのまにか洋画の韓国語字幕にも追いつけるようになっていたので嬉しかったです。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

韓国に居るからといって韓国語が上手くなるわけではありません。全て自分の努力次第です。遊びも勉強も両立して、ケガをしないように過ごしてください。

私は留学に来る前から旅行もでも何度も来ていたので、慣れているから大丈夫だろうと思っていましたが、遊びに帰る道には変質者に追いかけられたり、痴漢にあたりしました。それは必ず一人でいる時でした。

昼、夜関係なく一人で動くと何が起こるかわかりません。それと夜にクラブやバーに遊びに行くと声をかけてくる男性には絶対ついて行かないでください!!韓国の男性は優しい人も多いけれど、変な人も多いです。時には開放的な気分になるのもいいですが、自分の身は自分で守るしかありません。日本と似ているけど、外国やという意識を忘れず、自分の行動に責任をもって下さい!!ほんとうに夜道は危ないです!!!

IV. 写真



韓国語課程の 6 級のクラスです。パソコンを持参して、パワーポイントで発表をしている様子です。中国から来た留学生 2 名、大学院進学決定者 2 名と一緒にのクラスでした。
人数が少なかったので親しくなり、授業外でも食事などをしていました。

新しい寄宿舎シャロムハウスの内部です。机が横並びに 2 台、反対側にも 2 台あります。

ふとんやシャンプーなどは着いてから買いました。トイレや洗面台を掃除する洗剤やトイレトーパーは部屋の人と相談して一緒に買ったほうがいいと思います。

生活用品は学校の近くで買えますがふとんは大きいマートに行かないとありません。

寄宿舎は新しくきれいですが、建物の裏が山なので虫がよく出ます。各階に電子レンジと浄水器とテレビがあります。

